

THE NEW VALUE FRONTIER

証券コード 6971



# 第58期中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

京セラ株式会社

# 京セラの経営哲学

社 是

## 敬天愛人

〈敬天愛人〉

常に公明正大謙虚な心で仕事にあたり

天を敬い 人を愛し 仕事を愛し 会社を愛し 国を愛する心

### 経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、  
人類、社会の進歩発展に貢献すること。

### 経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。  
共に生きる (LIVING TOGETHER) ことをすべての  
企業活動の基本に置き、豊かな調和をめざす。

## 目次

### 京セラの経営哲学

ごあいさつ	1
当中間期の連結業績の概況	2-3
主要な事業内容	4-5
事業セグメント別の状況	6-9
ファインセラミック部品関連事業	6
半導体部品関連事業	6
ファインセラミック応用品関連事業	7
電子デバイス関連事業	7
通信機器関連事業	8
情報機器関連事業	8
その他の事業	9
配当金の推移	9
トピックス	10-13
連結財務諸表	14-16
連結貸借対照表	14-15
連結損益計算書	16
連結キャッシュ・フローの状況	16
会社概要	17
株主メモ	



名誉会長

稲盛和夫

## 心をベースに経営する

京セラを創業した頃は十分な資金もなく、立派な建物や機械もありませんでした。ただ私には、家族のように苦楽を共にし、お互い助け合える心と心で結ばれた仲間がありました。そこで私は、人の心というものをよりどころとしてこの会社を経営していこうと決心をしました。それは、人の心ほどうつろいやすく頼りにならないものもないかわりに、ひとたび固い信頼で結ばれば、これほど強く頼りになるものもないと思ったからです。

人の心をベースとして経営する。ここに京セラの原点があります。

## ごあいさつ

平素は京セラグループに対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成23年9月30日をもちまして終了しました第58期中間期（当中間期）の業績につきましてご報告いたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。



当中間期の国内での生産活動は、期初は東日本大震災の影響により低調であったものの、サプライチェーンの復旧に伴い、ゆるやかに回復に向かいました。しかし、欧米諸国の景気の停滞懸念から、携帯電話端末や薄型テレビ等のデジタルコンシューマ機器の需要は伸び悩み、また、米ドルに対する円高も進行しました。このような事業環境のもと、当社は原価低減や生産性の向上に努めましたが、売上高及び利益は、好調であった前年中間期を下回りました。

欧米諸国の景気低迷や円高の進行が懸念される等、当社グループを取り巻く下期の事業環境は引き続き厳しい状況が予想されます。このような事業環境のもと、当社はグループを挙げてコスト削減に努め企業体質の強化を図るとともに、今後のグループの成長を牽引する環境・エネルギー関連市場や情報通信市場への積極的な新製品展開、新興国市場の開拓に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、京セラグループに対して、引き続き一層のご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

川村 誠



代表取締役社長

久芳 徹夫

# 当中間期の連結業績の概況

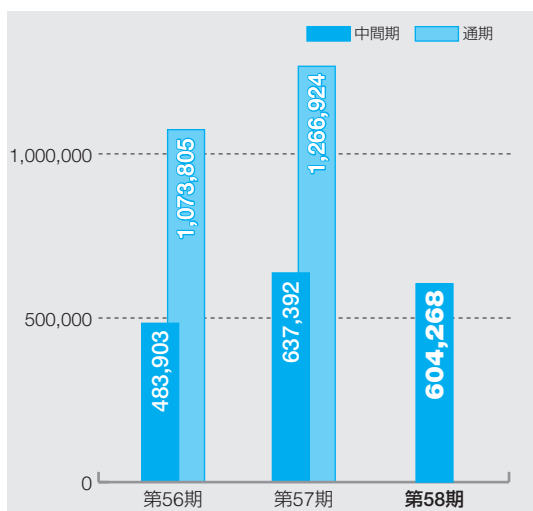
## 経済及び事業環境

当中間期の国内経済は、東日本大震災の影響により、当期第1四半期は企業の生産活動が大幅に減退したものの、その後はサプライチェーンの復旧とともに回復基調で推移しました。しかし、輸出や民間設備投資の低迷により、本格回復には至りませんでした。米国経済は個人消費が伸び悩み、また、欧州経済も金融不安の高まりに加え、輸出が鈍化する等、いずれも停滞しました。一方、中国をはじめとするアジア経済は、インフレの進行が懸念されたものの、引き続き堅調に推移しました。

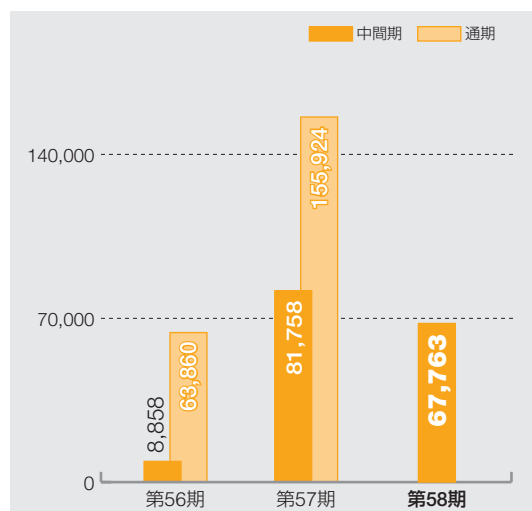
当社グループの主要市場であるデジタルコンシューマ機器市場においては、携帯電話端末をはじめとした生産活動が総じて期初の見通しに比べ伸び悩んだことにより、部品需要は弱含みで推移しました。

## ◆ 連結業績の推移

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



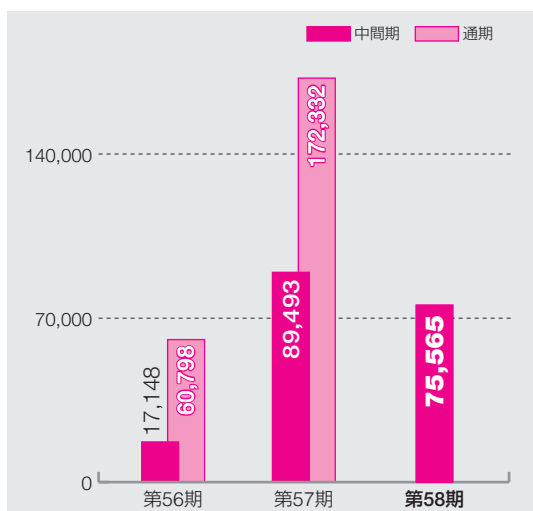
当社は、米国会計基準に準拠して連結財務諸表を作成しています。  
また、本中間報告書の表示金額は百万円未満を四捨五入して記載しています。

## 連結業績

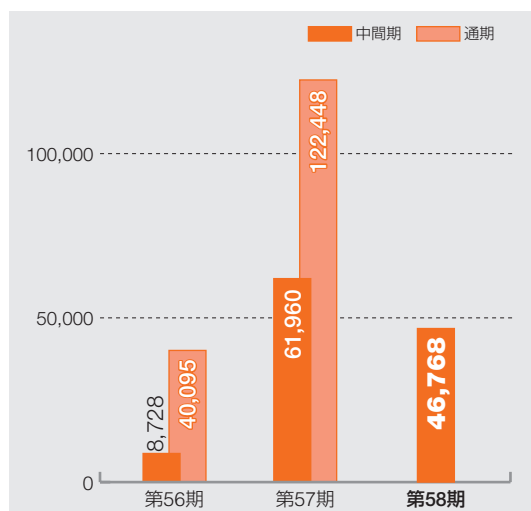
当中間期の平均為替レートは、対米ドルは前年中間期の89円に比べ9円（約10%）円高の80円、対ユーロは前年中間期と変わらず114円となりました。この結果、前年中間期に比べ売上高は約230億円、税引前中間純利益は約55億円、押し下げられました。

この円高による影響に加え、通信機器関連事業の売上高が減少したことにより、当中間期の売上高は前年中間期の6,373億92百万円に比べ331億24百万円（5.2%）減少の6,042億68百万円となりました。営業利益は前年中間期の817億58百万円に比べ139億95百万円（17.1%）減少の677億63百万円、税引前中間純利益は前年中間期の894億93百万円に比べ139億28百万円（15.6%）減少の755億65百万円、当社株主に帰属する中間純利益は前年中間期の619億60百万円に比べ151億92百万円（24.5%）減少の467億68百万円となりました。

税引前当期純利益（百万円）



当社株主に帰属する当期純利益（百万円）



# 主要な事業内容

## ファインセラミック部品関連事業

産業機械、通信、コンピュータ、自動車等の様々な産業分野に幅広くセラミック部品を供給しています。



電子工業用セラミックス



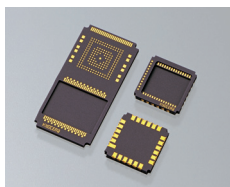
自動車部品  
セラミックグロープラグ

売上高構成比  
(第58期中間期)

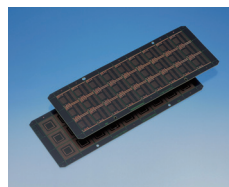


## 半導体部品関連事業

無機(セラミック)と有機の両材料を用いた電子部品やICを保護するパッケージ及び基板を供給しています。

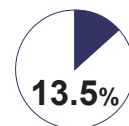


CMOS/CCD  
イメージセンサー用  
セラミックパッケージ



SiP基板

売上高構成比  
(第58期中間期)

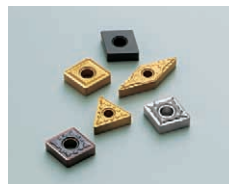


## ファインセラミック応用品関連事業

ソーラーエネルギー関連製品、切削工具、医科用・歯科用インプラントや宝飾品、セラミックナイフ等のファインセラミック応用商品を供給しています。



住宅用太陽光  
発電システム



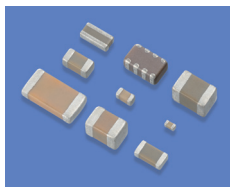
切削工具

売上高構成比  
(第58期中間期)



## 電子デバイス関連事業

通信機器や情報機器、産業機器等、幅広い分野に様々な電子部品やデバイスを供給しています。

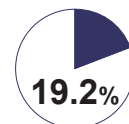


セラミックコンデンサ



液晶ディスプレイ、  
タッチパネル

売上高構成比  
(第58期中間期)



## 通信機器関連事業

搭載機能を絞った簡単ケータイやスマートフォン等の携帯電話端末に加え、PHS端末や基地局等を供給しています。

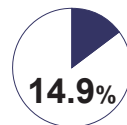


簡単ケータイ



北米市場向け  
スマートフォン

売上高構成比  
(第58期中間期)



## 情報機器関連事業

京セラ独自の長寿命でエコロジー、エコノミーを実現した「Ecosys」コンセプトのプリンター及びデジタル複合機に加え、トナー等の消耗品をビジネスユーザー向けに展開しています。



カラープリンター複合機



A3高速モノクロ複合機

売上高構成比  
(第58期中間期)

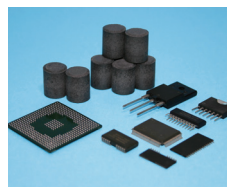


## その他の事業

主に情報通信サービス事業や電気絶縁材料事業、成形品事業等を展開しています。

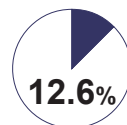


ITマネジメントセンター  
(情報通信サービス事業)



半導体封止材料

売上高構成比  
(第58期中間期)



注「調整及び消去」(△2.2%)の項目があるため、4ページ及び5ページに記載の売上高構成比の合計は100%になりません。

更に詳しくお知りになりたい方は  
当社ホームページをご覧ください

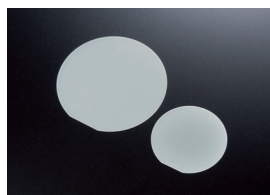
京セラホームページ : <http://www.kyocera.co.jp/>

# 事業セグメント別の状況

## ファインセラミック部品関連事業

LED関連市場及び一般産業市場向けに部品需要が増加したことにより、当セグメントの売上高及び事業利益は前年中間期に比べ増加し、事業利益率も向上しました。

**売上高：419億81百万円**（前年中間期比14.5%増）  
**事業利益：72億68百万円**（前年中間期比36.8%増）



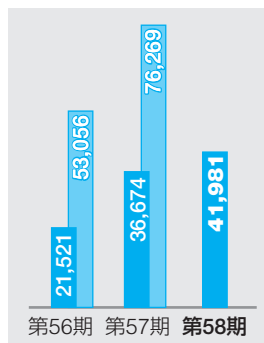
サファイア基板



半導体製造装置用部品

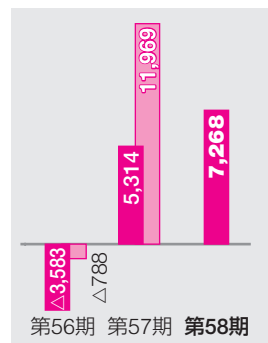
■ 中間期 ■ 通期

売上高 (百万円)



■ 中間期 ■ 通期

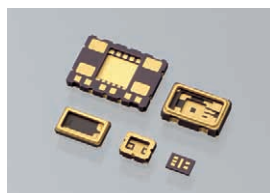
事業利益 (百万円)



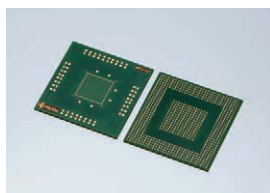
## 半導体部品関連事業

デジタルコンシューマ機器向けの部品需要が伸び悩んだことにより、当セグメントの売上高及び事業利益は前年中間期に比べ減少しました。しかし、原価低減や生産性の向上に努めた結果、円高の影響はあったものの、事業利益率は前年中間期を上回りました。

**売上高：817億54百万円**（前年中間期比7.2%減）  
**事業利益：178億73百万円**（前年中間期比3.1%減）



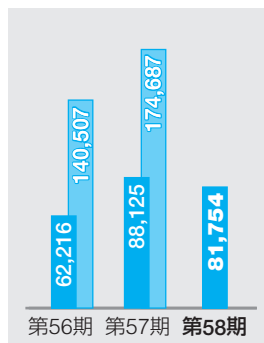
水晶／SAWデバイス用セラミックパッケージ



有機多層パッケージ

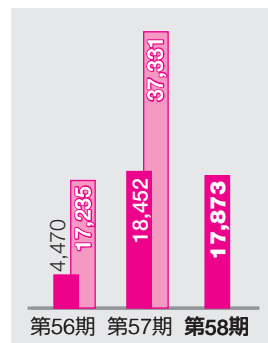
■ 中間期 ■ 通期

売上高 (百万円)



■ 中間期 ■ 通期

事業利益 (百万円)





## ファインセラミック応用品関連事業

機械工具事業の売上高は、アジアを中心に自動車市場向け等に増加しました。しかし、ソーラーエネルギー事業の売上高は、最大の市場である欧州での需要低迷による需給バランスの悪化を受け、世界的に製品価格が大幅に下落したことにより減少しました。この結果、セグメント全体の売上高及び事業利益は前年中間期に比べ減少しました。



機械工具

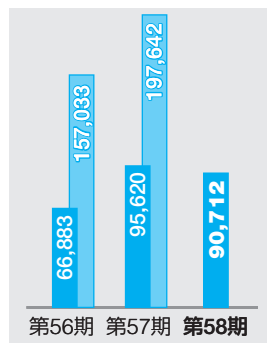


住宅用太陽光発電システム  
エコノルーツ® タイプU

売上高：907億12百万円（前年中間期比5.1%減）  
事業利益：63億56百万円（前年中間期比59.5%減）

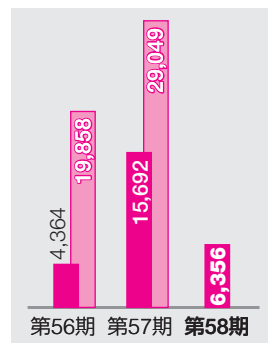
■ 中間期 ■ 通期

売上高 (百万円)



■ 中間期 ■ 通期

事業利益 (百万円)



## 電子デバイス関連事業

デジタルコンシューマ機器向けの部品需要が伸び悩んだことに加え、円高の影響も受けたことにより、当セグメントの売上高及び事業利益は前年中間期に比べ減少しました。



タンタルコンデンサ

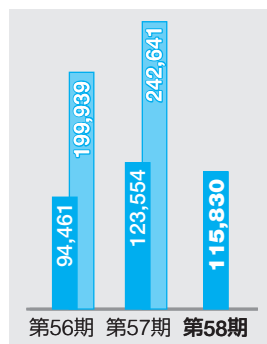


タイミングデバイス

売上高：1,158億30百万円（前年中間期比6.3%減）  
事業利益：176億23百万円（前年中間期比20.8%減）

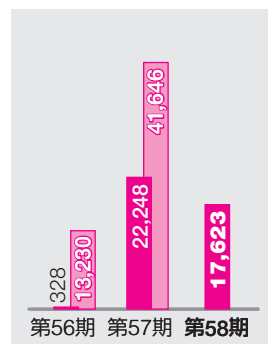
■ 中間期 ■ 通期

売上高 (百万円)



■ 中間期 ■ 通期

事業利益 (百万円)



# 事業セグメント別の状況

## 通信機器関連事業

米国での販売の伸び悩みや国内市場の低迷により、携帯電話端末の販売台数が減少した結果、当セグメントの売上高は前年中間期を下回りました。また、事業利益は前年中間期に比べ減少したものの、原価低減を図ったことにより、利益は確保しました。



携帯電話端末  
K010

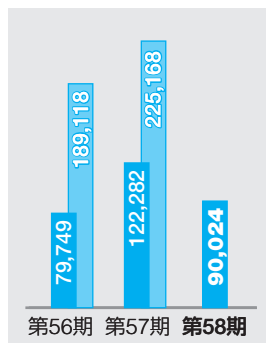


PHS 端末  
HONEY BEE® 4

売上高：900億24百万円（前年中間期比26.4%減）  
事業利益：3億26百万円（前年中間期比82.9%減）

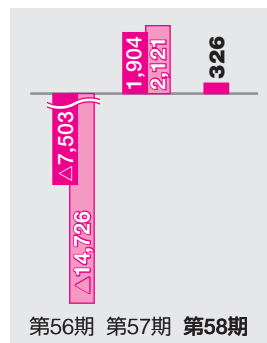
■ 中間期 ■ 通期

売上高 (百万円)



■ 中間期 ■ 通期

事業利益 (百万円)



## 情報機器関連事業

カラーモデル等の新製品の投入により、欧州での複合機やプリンターの販売が伸びたことに加え、新興国市場での拡販を図ったことにより、売上高及び事業利益は前年中間期に比べ増加しました。



TASKalfa  
A3 対応カラー複合機  
TASKalfa 255c

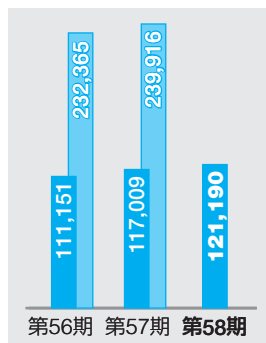


Ecosis®  
A4 中速プリンター複合機  
LS-3640MPF

売上高：1,211億90百万円（前年中間期比3.6%増）  
事業利益：158億28百万円（前年中間期比9.9%増）

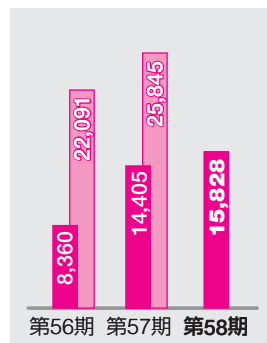
■ 中間期 ■ 通期

売上高 (百万円)



■ 中間期 ■ 通期

事業利益 (百万円)



## その他の事業

京セラコミュニケーションシステム(株)のICT事業の売上高が増加したことに加え、LED照明の売上も貢献し、当セグメントの売上高は増加しました。しかし、新事業への研究開発費の増加を主因に、事業利益は前年中間期に比べ減少しました。

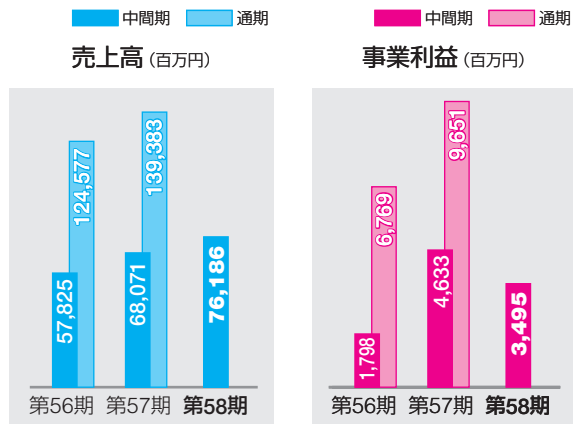


LED 照明



店舗内LED照明設置例  
(株式会社セブン-イレブン・ジャパン)

**売上高：761億86百万円** (前年中間期比11.9%増)  
**事業利益：34億95百万円** (前年中間期比24.6%減)



## 配当金の推移

当社は、将来にわたり連結業績の向上を図ることが企業価値を高め、株主の皆様のご期待に応えることになると考えています。従って、配当につきましては連結業績の「当社株主に帰属する当期純利益」の範囲を目安とすることを原則とし、連結配当性向を20%から25%程度の水準で維持する配当方針としています。あわせて、中長期の企業成長を図るために必要な投資額等を考慮し、総合的な判断により配当金額を決定することとしています。

当中間期の配当金は、当中間期の業績、当期の業績見通し、並びに上記配当方針を踏まえ、前年中間期と同額の1株当たり60円とさせていただきます。



## ● 京セラ国内初の au 向けスマートフォン DIGNO ISW11K 発売

今冬発売予定



高精彩でキレイな  
ディスプレイ

- 約 4.0 インチの大画面で高精彩な有機ELディスプレイを採用し、豊かな色彩表現／高コントラスト／動画表現力等で、美しい映像を実現します

最薄・防水対応

- auの現行機種で最薄<sup>\*1</sup>となる約8.7mmの防水対応の本体に、おサイフケータイ<sup>®</sup>\*2、ワンセグ、赤外線通信、海外で使えるグローバルパスポート等、様々な機能を搭載しています

高速インターネット  
サービスに対応

- 高速インターネットサービスWiMAX<sup>TM</sup>\*3に対応（下り最大40Mbps<sup>\*4</sup>、上り最大10Mbps<sup>\*4</sup>）
- 複数の無線LAN対応機器へのインターネット接続機能も搭載

## ● 京セラ初のソフトバンクモバイル向けスマートフォン HONEY BEE<sup>®</sup> SoftBank 101K 発売

今冬発売予定

ソフトバンクモバイル向けとしては初めての携帯電話端末となるスマートフォン HONEY BEE Softbank 101K が発売されます。PHS 端末で大ヒットとなった HONEY BEE（ハニービー）のポップでかわいいデザインを採用し、「女の子の毎日を楽しめるスマホ」をコンセプトとして、若い女性をメインターゲットにした新しいスマートフォンです。



ポップで  
かわいいデザイン

- ラメがキラキラ輝くかわいいデザイン
- 持ちやすいコンパクトサイズ（幅約56mm）

便利で役立つ  
機能満載

- 防水、すぐ文字、赤外線対応等、便利な機能が満載
- 下り最大21Mbps<sup>\*4</sup>の高速通信に対応

ツインカメラに  
楽しいアプリ

- インカメラで自分撮りも簡単
- 撮った写真はフォトアプリで楽しく加工できます



※1：2011年9月26日 KDDI株式会社発表時点のスマートフォンにおいて。

※2：おサイフケータイ<sup>®</sup>は株式会社NTTドコモの登録商標です。

※3：WiMAXはWiMAXフォーラムの商標です。

※4：ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境等により、通信速度が低下する場合があります。

## ● 京セラミタの複合機、プリンターが米国の権威ある評価機関より最高賞を受賞

幅広い信頼性・耐久性テストで、卓越したパフォーマンスを示した製品に贈られる、米国BLI社<sup>※</sup>の最高賞「Pick Award（ピックアワード）」を、京セラミタの複合機2機種及びプリンター1機種が受賞しました。



最高賞  
「Pick Award」



推奨製品  
「Highly Recommended」



信頼性認証  
「Reliability Certified」

「ピックアワード」受賞に先立ち、当社新製品であるカラー複合機TASKalfa5550ciは、優れた性能が評価され、BLI社の推奨製品「Highly Recommended」に選ばれるとともに、卓越した信頼性が認められ、「Reliability Certified」を授与されました。

京セラミタは、今後も技術開発に努め、信頼性の向上を追求し、市場ニーズに合った付加価値の高い製品をグローバルに供給していきます。

※BLI社は1961年から50年間にわたって、世界中で販売されているオフィス機器について、信頼性、生産性、画質、ユーザビリティ等の観点から評価している米国の独立調査機関です。

## 国内住宅用太陽光発電システムの新製品を発売

多結晶型で世界トップクラスの変換効率と長期信頼性を有する当社太陽光発電システムに、設置自由度を改善し、屋根全体での発電量を高めた新製品「エコノルーツ アドバンス」(ECONOROOTHS ADVANCE) が加わり、本年11月より販売を開始しました。

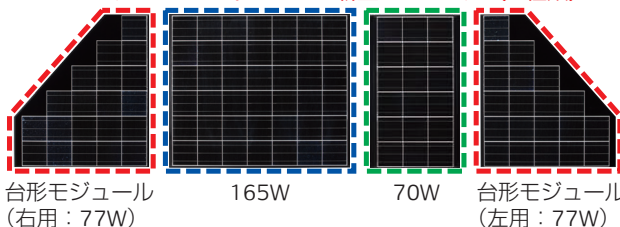
### 4種類の新型モジュール

- 屋根スペースを有効活用でき、発電量がアップ
- 複雑な屋根形状でも効率よく設置が可能



エコノルーツ® アドバンス設置例

### エコノルーツ® アドバンスの新型モジュール (4種類)



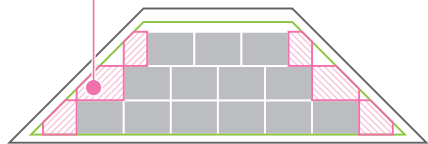
台形モジュール  
(右用：77W)

165W

70W

台形モジュール  
(左用：77W)

### 太陽電池モジュール設置不可

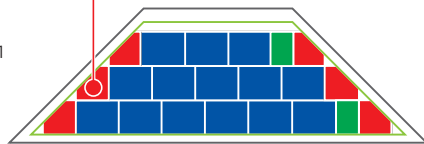


一般型モジュールの場合

搭載容量  
約30%アップ<sup>※1</sup>



### 屋根の隅まで設置が可能



エコノルーツ® アドバンスの場合

## 京セラの太陽電池モジュールを使用した国内最大級のメガソーラー発電所が稼働



東京電力株式会社  
扇島太陽光発電所<神奈川県川崎市>  
出力：13MW (設置容量は一般家庭約3,800軒分に相当)  
CO<sub>2</sub>削減量：約5,800t/年 (見込み)

京セラの太陽電池モジュールは、国内のメガソーラーシステムへの採用件数でNo.1<sup>※2</sup>の実績を誇っています。

京セラ製太陽電池モジュールは、2011年12月に稼働開始が予定されている国内最大級のメガソーラー発電所にも採用されています。

※1：各住宅の屋根デザインにより、搭載容量増加率は異なります。

※2：電気事業連合会「計画公表済のメガソーラー設置発電」より算出 (2011年10月時点)。

## ● 家庭用燃料電池 新型エネファームに京セラのセラミックモジュールが採用

本年10月にJ X日鉱日石エネルギー株式会社から発売された、家庭用新型エネファーム(SOFC<sup>※1</sup>型エネファーム)に、京セラのセラミックモジュールが採用されています。

貯湯ユニット

発電ユニット

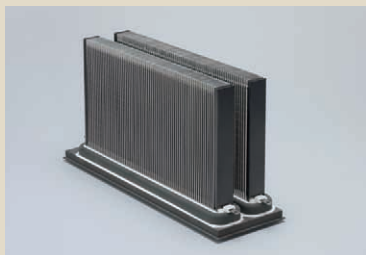


### SOFC型エネファーム

- 高い発電効率** 世界最高水準の発電効率45%<sup>※2</sup>を実現し、家庭での使用電力量の約70%を発電<sup>※3</sup>
- 省スペース** 従来型との比較で約40%のスペースを削減<sup>※4</sup>
- 高い環境性能** CO<sub>2</sub>排出量を約40%削減<sup>※5</sup>

写真、情報提供：  
J X日鉱日石エネルギー株式会社

### 京セラ製セラミックモジュール (セルスタック)



### 新型エネファームの高い性能を 京セラ製セラミックモジュールが支えています

家庭用燃料電池は、都市ガスやLPガス等の燃料ガスに含まれる水素と空気中の酸素を化学反応させて発電するシステムで、発電時の排熱でお湯も作ります。

京セラ製セラミックモジュールは、発電・発熱を行なう心臓部であり、新型エネファームの高い性能を支えています。

- ※1：Solid Oxide Fuel Cell（固体酸化物形燃料電池）の略称。
- ※2：家庭用燃料電池として（2011年9月15日時点）。
- ※3：一戸建て住宅4人家族を想定 電力需要450kw/月 給湯需要1,200MJ/月
- ※4：J X日鉱日石エネルギー株式会社のSOFC型エネファームとPEFC（固体高分子形燃料電池）型エネファームとの比較において。
- ※5：火力発電所からの電気と従来ガス給湯器を使用した場合との比較において。  
(700wh 発電（定格時） CO<sub>2</sub> 排出原単位 都市ガス 2.29kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>2</sup> 電気 0.69kg-CO<sub>2</sub>/kWh（火力電源平均）)

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期	増減金額
	平成23年3月31日現在	平成23年9月30日現在	
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>1,129,501</b>	<b>1,104,291</b>	<b>△ 25,210</b>
現金及び現金等価物	273,471	254,963	△ 18,508
一年以内償還予定負債証券	44,012	45,145	1,133
その他短期投資	201,817	182,170	△ 19,647
受取手形	19,536	15,911	△ 3,625
売掛金	208,404	199,360	△ 9,044
貸倒引当金及び返品損失引当金	△ 4,795	△ 4,300	495
たな卸資産	232,899	254,491	21,592
前渡金	72,207	69,845	△ 2,362
繰延税金資産	43,035	44,370	1,335
その他流動資産	38,915	42,336	3,421
<b>固定資産</b>	<b>817,065</b>	<b>831,008</b>	<b>13,943</b>
<b>投資及び長期貸付金</b>	<b>393,879</b>	<b>399,207</b>	<b>5,328</b>
負債証券及び持分証券	377,075	380,215	3,140
その他長期投資	16,804	18,992	2,188
<b>有形固定資産</b>	<b>247,754</b>	<b>252,993</b>	<b>5,239</b>
土地	59,638	59,848	210
建物	288,992	290,972	1,980
機械器具	706,474	694,705	△ 11,769
建設仮勘定	7,227	12,594	5,367
減価償却累計額	△ 814,577	△ 805,126	9,451
<b>営業権</b>	<b>64,701</b>	<b>72,433</b>	<b>7,732</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>42,160</b>	<b>44,100</b>	<b>1,940</b>
<b>その他資産</b>	<b>68,571</b>	<b>62,275</b>	<b>△ 6,296</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,946,566</b>	<b>1,935,299</b>	<b>△ 11,267</b>

### 現金及び現金等価物、 その他短期投資

デンマークの機械工具製造販売会社であるユニメルコ社の買収に伴う支出や前期末配当金の支払い等により減少しました。



(単位:百万円)

科目	前期	当中間期	増減金額
	平成23年3月31日現在	平成23年9月30日現在	
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	<b>300,615</b>	<b>284,997</b>	△ <b>15,618</b>
短期債務	7,852	5,735	△ 2,117
一年以内返済予定長期債務	10,687	10,285	△ 402
支払手形及び買掛金	101,265	92,190	△ 9,075
設備支払手形及び未払金	61,226	58,499	△ 2,727
未払賃金及び賞与	49,092	50,797	1,705
未払法人税等	18,069	20,993	2,924
未払費用	24,337	22,116	△ 2,221
その他流動負債	28,087	24,382	△ 3,705
<b>固定負債</b>	<b>162,592</b>	<b>158,247</b>	△ <b>4,345</b>
長期債務	24,538	21,019	△ 3,519
未払退職給付及び年金費用	28,924	26,134	△ 2,790
繰延税金負債	90,005	94,976	4,971
その他固定負債	19,125	16,118	△ 3,007
<b>負債合計</b>	<b>463,207</b>	<b>443,244</b>	△ <b>19,963</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>	<b>1,420,263</b>	<b>1,430,220</b>	<b>9,957</b>
資本金	115,703	115,703	—
資本剰余金	162,336	162,475	139
利益剰余金	1,268,548	1,302,470	33,922
累積その他の包括利益	△ 75,633	△ 99,209	△ 23,576
自己株式	△ 50,691	△ 51,219	△ 528
<b>非支配持分</b>	<b>63,096</b>	<b>61,835</b>	△ <b>1,261</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,483,359</b>	<b>1,492,055</b>	<b>8,696</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>1,946,566</b>	<b>1,935,299</b>	△ <b>11,267</b>

**累積その他の包括利益**

円高の進行により外貨建資産の円貨換算額が減少し、「為替換算調整勘定」が減少しました。

# 連結財務諸表

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前年中間期	当中間期	増減率 (%)
	(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
純売上高	637,392	604,268	△ 5.2
売上原価	448,119	427,322	△ 4.6
売上総利益	189,273	176,946	△ 6.5
販売費及び一般管理費	107,515	109,183	1.6
営業利益	81,758	67,763	△ 17.1
その他収益・費用 (△)			
受取利息・配当金	6,511	7,011	7.7
支払利息	△ 1,125	△ 1,016	-
為替換算差損益	1,069	1,885	76.3
その他一純額	1,280	△ 78	-
その他収益・費用計	7,735	7,802	0.9
税引前中間純利益	89,493	75,565	△ 15.6
法人税等	23,670	24,838	4.9
非支配持分帰属損益控除前中間純利益	65,823	50,727	△ 22.9
非支配持分帰属損益	△ 3,863	△ 3,959	-
当社株主に帰属する中間純利益	61,960	46,768	△ 24.5
1株当たり情報			
当社株主に帰属する中間純利益			
ー 基本的	337円62銭	254円93銭	
ー 希薄化後	337円62銭	254円93銭	
期中平均株式数			
ー 基本的	183,519千株	183,457千株	
ー 希薄化後	183,519千株	183,457千株	

### 営業利益

売上高の減少や円高の影響等により減少しました。

### 法人税等

前年中間期の「法人税等」には、一部の海外子会社の収益性改善により、繰延税金資産を計上したことに伴う税金費用の戻りが含まれています。このため、当中間期の税引前中間純利益は、前年中間期に比べ減少しましたが、法人税等は増加しました。

## 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科目	前年中間期	当中間期
	(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,629	51,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 80,251	△ 41,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,691	△ 19,336
現金及び現金等価物に係る換算差額	△ 12,234	△ 9,842
現金及び現金等価物の減少額	△ 25,547	△ 18,508
現金及び現金等価物の期首残高	313,126	273,471
現金及び現金等価物の期末残高	287,579	254,963

# 会社概要 (平成23年9月30日現在)

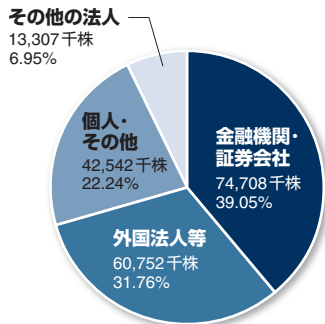
- 社 名 京セラ株式会社
- 英 文 社 名 KYOCERA Corporation
- 本 社 所 在 地 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
- 設 立 昭和34年(1959年)4月1日
- 従 業 員 数 連結67,072名 単独14,703名
- 発行済株式総数 191,309,290株  
(うち自己株式数 7,863,990株)
- 株 主 数 67,112名
- 大 株 主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	13,141	7.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,906	7.04
株式会社京都銀行	7,218	3.93
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	6,829	3.72
稲盛 和夫	5,606	3.06
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,076	2.77
公益財団法人稲盛財団	4,680	2.55
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	3,713	2.02
ケイアイ興産株式会社	3,550	1.94
第一生命保険株式会社	2,748	1.50

注1) 持株数は千株未満を四捨五入して表示しています。

注2) 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 所有者別株式分布状況



## 取締役及び監査役

代表取締役会長	川 村 誠	常 勤 監 査 役	西 川 美 彦
代表取締役社長	久 芳 徹 夫	常 勤 監 査 役	鹿 野 好 弘
代表取締役副社長	前 田 辰 巳	監 査 役	西 枝 攻
代表取締役副社長	久 木 壽 男	監 査 役	吉 田 和 男
取 締 役	山 本 康 行	監 査 役	原 良 也
取 締 役	山 口 悟 郎		
取 締 役	青 木 昭 一		
取 締 役	駒 口 克 己		
取 締 役	家 守 力		
取 締 役	大 田 嘉 仁		
取 締 役	ロドニー・ランソン		
取 締 役	ジョン・ギルバートソン		

## 執行役員

執行役員社長	久 芳 徹 夫	執 行 役 員	神 野 純 一
執行役員副社長	前 田 辰 巳	執 行 役 員	槐 島 登 士 巳
執行役員副社長	久 木 壽 男	執 行 役 員	古 橋 道 明
執行役員常務	山 本 康 行	執 行 役 員	山 下 洋 一
執行役員常務	山 口 悟 郎	執 行 役 員	ジョン・リグビー
執行役員常務	青 木 昭 一	執 行 役 員	ロバート・ウィスラー
執行役員常務	駒 口 克 己	執 行 役 員	高 津 正 紀
執行役員常務	家 守 力	執 行 役 員	鷹 尾 仁 志
執行役員常務	大 田 嘉 仁	執 行 役 員	中 村 由 春
執行役員上席	南 慶 二 郎	執 行 役 員	梅 村 和 正
執行役員上席	高 安 元	執 行 役 員	松 田 孝 史
執行役員上席	勝 木 純 三	執 行 役 員	伊 藤 雅 章
執行役員上席	北 村 信 夫	執 行 役 員	江 上 剛
執行役員上席	石 井 健	執 行 役 員	前 耕 司
		執 行 役 員	小 林 元 夫
		執 行 役 員	瀧 和 之
		執 行 役 員	後 藤 雄 次
		執 行 役 員	木 里 重 亮
		執 行 役 員	飯 田 真 幸
		執 行 役 員	触 浩

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
  - 株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日
  - 定時株主総会 6月
  - 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ  
(<http://www.kyocera.co.jp>) に掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告  
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
  - 上場証券取引所 東京、大阪、ニューヨーク
  - 単元株式数 100株
  - 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 各種お問い合わせ先 電話番号 0120-094-777 (通話料無料)
- 〔 受付時間 9:00 ~ 17:00  
(土、日、祝祭日、年末年始を除く) 〕
- ホームページ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

### 株式に関するお手続きについて

1. 「住所変更」、「買取・買増請求」、「配当金の受取方法の指定」等の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)でのお手続きが必要です。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 「郵便物の発送と返戻に関するご照会」、「未受領の配当金に関するご照会」及び「特別口座に記録された株式に関する各種お手続き」につきましては、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。



京セラ株式会社

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 〒612-8501  
電話: 075-604-3500 (大代表)

<http://www.kyocera.co.jp>

